

2020(令和2)年度 龍谷大学大学院 理工学研究科 物質化学専攻 修士論文公聴会

場所：3-202教室
発表時間 15分 質疑 4分 交替時間 1分（時間厳守）
発表は液晶プロジェクターを用いて行う。
照明・時計係は発表研究室で行う。

～プログラム～

2月18日（木） 場所：3-202教室

専攻主任挨拶 9:20～9:25 宮武 智弘

内田研究室 4名（9:30～10:50） 座長 河内 岳大

鬼塚 梨里	六員環を有するジアリールエテン分子の骨格転位反応とその生成物のフォトクロミズム
河野 瑠菜	フォトニック結晶膜の作製を目指した新規蛍光性ジアリールエテン分子の設計と合成
永井 聖	ジアリールエテン結晶カプセルの作製とその光応答挙動
北川 剛史	棒状及び円盤状の両分子ユニットから構成されるカラミチックーディスコチック双液晶性化合物～エーテル結合体の液晶相転移の解明

河内研究室 3名（11:00～12:00） 座長 中沖 隆彦

薦田 健矢	マイクロ波加熱によるビオローゲンナノ粒子のワンポット合成
長谷川 拓洋	高分子量ベンゾオキサジンの精密合成とその熱硬化物の特性
高原 凌	7位にリン酸エステルを連結したベンゾオキサジンの合成とその熱硬化物の特性

昼休み（12:00～13:00）

中沖研究室 4名（13:00～14:20） 座長 内田 欣吾

桑原 健	キメラタンパクナビゲーター分子の血中における $\beta 2$ ミクログロブリン結合能の増強
小林 一基	シンジオタクチックポリスチレンのナノポアを用いたバイオエタノール水溶液からのエタノールの分離
中野 元希	<i>Ralstonia eutropha</i> を用いた P(3HB-co-4HB) と P(3HB) から構成されたブロック共重合体の生合成と物性評価
横江 洋人	グリセリンを炭素源とした微生物 <i>Ralstonia eutropha</i> によるバイオプラスチック高収率化の新規プロセス

和田研究室 2名 (14:30~15:10) 座長 青井 芳史

小島 拓也	BaCuSeF 系透明 p 型導電化合物の局所構造と結晶構造解析
青柳 風香	第一原理計算を用いた CuInSe ₂ 系太陽電池材料の原子拡散の評価

富崎研究室 2名 (15:20~15:50) 座長 岩澤 哲郎

河村 涼央	ミトコンドリアを標的とするペプチドシステムの開発
曾根 智輝	ペプチドによる金属チタン表面修飾

一日目終了

2月19日 (金) 場所: 3-202 教室

宮武研究室 6名 (9:20~11:20) 座長 富崎 欣也

山本 龍一	ペプチド修飾クロロフィル誘導体を用いた超分子集光アンテナの構築
幡野 瑞穂	イオン性のオリゴペプチドと生体分子を用いた機能性超分子システムの創製
杉山 和央	脂質二分子膜内に導入した亜鉛クロリンの自己会合およびその温度応答性
荒川 祐志	17 位の側鎖に種々の置換基を導入した亜鉛クロリン分子の自己会合挙動と物性
湯浅 貴文	7 位および 17 位に長鎖アルキルエステル基をもつ亜鉛クロリンの合成と会合挙動
井上 凌	N-アルキルアミド基をもつクロロフィル誘導体の合成と会合挙動

昼休み (11:20~12:20)

岩澤研究室 6名 (12:20~14:20) 座長 宮武 智弘

丸山 知之	キャビタンド型ブレンステッド酸の新規合成とその触媒的展開
鶴川 勝登	キャビタンドがもつ分子空隙を利用した選択的金属触媒反応とその構造活性相関
田村 柚香	(E)-1-ブromo-2-ヨードアルケンを足場分子として用いた (E), (Z)-タモキシフェンの選択的合成経路の開発
橋本 奈子	ジベンゾ[g,p]クリセンに複数のヒドロキシ基を選択的に導入する方法の開発
坂尾 和紀	有機溶媒によく溶ける性質をもつジベンゾ[g,p]クリセン誘導体の簡便合成法の開発
藤居 よしの	ジベンゾ[g,p]クリセン骨格の位置特異的な臭素化反応の開発

大柳研究室 1名 (14:30~14:50) 座長 和田 隆博

浅井 恭太	h-BN/SiC 被覆 SiC 長繊維強化 SiC 複合材料の放電プラズマ焼結
-------	---

終了

引き続き博士論文公聴会へ